

物販拠点施設等
リレーコラム
Relay column

このコーナーでは、食材をはじめとする地域資源を活用した産業振興や、市内外からの来訪者による交流促進などにより、市全体が活性化していくための拠点となる施設の魅力について、施設長自らのリレーコラム形式で紹介していきます。

観光振興課観光振興係 0824・73・1179



「里山を楽しむ町総領」 道の駅リストア・ステーション

道の駅リストア・ステーションの歴史は、平成3年に建築家・小川晋一氏の設計により、近未来的なデザイン建造物が造られ、過疎化が進む町の再生への思いを込め、「リストア（再生、よみがえる）・ステーション」と名付けられたところから始まります。平成5年には、広島県第一号の道の駅として認可を受け、その後特産品販売施設、トイレ棟などが整備されました。

特産品売場には、地元野菜や米、加工品その他、総領町の銘菓のようかんや、こんにやく、そして地元産のお酒が並び、お酒はまとめ買いする方もいるほど人気のものもあります。一面ガラス張りのレストランからは、川向こうにある公園や山を眺めながらゆったりと食事を楽しむことができます。またこの時期は、町内の特産品でそろえた「ふるさと特産品」の小包や、総領産ヒメノモチを使った正月用

きねつき餅の注文を受け付けており、好評をいただいています。

毎年2月中旬からの「節分草」自生地公開時には、公開地を巡る観光客の拠点となり、土・日曜日には地域を挙げてのバザーなどでにぎわいます。

総領町の生活拠点、観光拠点としての役割を担い、庄原市の活性化につなげられるよう頑張っています。皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

（道の駅リストア・ステーション）
駅長 池田 好幸



安心・安全な毎日のために

火災の無い明るい新年を迎えよう！

これからの時期は、寒さが一段と増し、暖房器具を使用する機会が多くなります。また、空気が乾燥するため、火災が発生しやすくなります。

一人一人が、よりいっそう火の用心を心掛けましょう。

暖房器具による火災を防ぐために

- ▼ストーブをつけたまま寝ない。
- ▼洗濯物をストーブの上に干したり、近くで乾かしたりしない。
- ▼カーテンや布団などの燃えやすい物の近くでは、ストーブを使用しない。
- ▼火をつけたままストーブに給油をしない。
- ▼給油前に油種の確認をする。
- ▼外出するときは必ず暖房器具の電源を切る。
- ▼電源プラグやコードが傷んでいたら使用しない。



庄原消防署 0824・72・9911
東城消防署 08477・2・4005

お餅による窒息にご注意を！

年末年始には、毎年お餅を喉に詰まらせて窒息状態に陥る事故が多く発生しています。特に飲み込む力が弱くなった高齢者は注意が必要です。もし、窒息を起こした場合は、すぐに119番通報をしてください。

窒息事故を防ぐために

- ▼食品を小さく切るなど、食べやすい大きさにする。
- ▼急いで飲み込まず、ゆっくりとよくかみ砕き、だ液と混ぜてから飲み込む。
- ▼食事の際は、お茶や水などを飲んで喉を湿らせる。
- ▼いざというときに備え、応急手当の方法を習得しておく。

窒息に対する応急手当

- ▼咳をするように促す。異物の除去に一番有効です。
- ▼手の付け根で、左右の肩甲骨の間を強く繰り返し返したく。（背部叩打法）
- ▼患者の背後から手を回し、握りこぶしを作って、へそとみぞおちの間を手前上方に向けて突き上げる。（腹部突き上げ法）
- ※反応がない場合は心肺蘇生法を行ってください。



腹部突き上げ法